名城大学柳沢研究室

２０１４年度クロニクル

140402 前期　第０回ゼミ・修士ゼミ
140403 研究室花見
140409 前期　第１回ゼミ
140410 プロジェクトゼミ
140416 修士ゼミ
140416 前期　第２回ゼミ
140419 加子母木匠塾幹事会
「杉と土で作る家 WS」土の勉強会
140420 加子母木匠塾幹事会
140421 修士ゼミ
140423 前期　第３回ゼミ
140424 プロジェクトゼミ
140430 プロジェクトコンペ提出
140507 前期　第４回ゼミ
140517「杉と土で作る家 WS」
安井邸建前見学会 / 研究室 BBQ
140508 プロジェクトゼミ
140512 修士ゼミ
140514 前期　第５回ゼミ
140515 ３年生第１課題　提出
140521 前期　第６回ゼミ
140522 プロジェクトゼミ
建築家　諸江一講評会
140524-25 加子母木匠塾幹事会
140526 修士ゼミ
140527 味鋺の家解体着手
140528 前期第７回ゼミ
140601 名古屋建築研究会　三重
140602 修士ゼミ
140604 前期第８回ゼミ

140605 プロジェクトゼミ
140608 計画系ボーリング大会
140611 前期　第９回ゼミ
薫賞アイディアコンペ入選
140614-15「杉と土で作る家 WS」荒壁を塗る
140618 前期　第 10 回ゼミ
140619 プロジェクトゼミ
140621-22 加子母木匠塾幹事会
140625 前期　第 12 回ゼミ
140630「杉と土で作る家 WS」土の勉強会
修士ゼミ
140702 前期　第 13 回ゼミ
140710 前期　第 14 回ゼミ
140711 ３年生第２課題　提出
140713 名古屋建築研究会　岐阜
140714 修士ゼミ
140716 前期　第 15 回ゼミ
140721「杉と土で作る家 WS」大なおし
140722 犬山クラス会
140719 加子母木匠塾幹事会
140731 卒業研究中間発表会
140804 味鋺の家　流しソーメン会
140807-09 ゼミ旅行
140816-30 加子母木匠塾
140823-0907 インド調査
140917 後期　第１回４年生ゼミ
140922 後期　第１回３年生ゼミ
140924 後期　第２回４年生ゼミ
夏休み報告スライド会
140926 修士ゼミ

140930 犬山クラス会
141001 アルキテクトン取材
141006 後期　第２回３年生ゼミ
141008 後期　第３回４年生ゼミ
141009 修士ゼミ
141010 卒業研究中間発表
141015 卒業レポート提出
141020 後期　第３回３年生ゼミ
141022 後期　第４回４年生ゼミ
141023 修士ゼミ
141029 3,4 回生合同ゼミ・卒業レポート発表
141030-141101 大学祭
141031 味鋺の家　コンクリートタイル打設
141105 後期　第５回４年生ゼミ
141106 修士ゼミ
141108 味鋺の家　食事会
141110 後期　第５回３年生ゼミ
141111 犬山くらす会
141112 後期　第６回４年生ゼミ
141113 計画系卒業研究中間発表会
141114 研究室お菓子パーティ
141115 修士論文中間報告会
141115-16 中川運河　長七たたき展示
141119 後期　第７回４年生ゼミ
141120 修士ゼミ
141121 味鋺の家コンクリートタイル脱型
141124 後期　第６回３年生ゼミ
141125 中川運河調査
141126 後期　第８回４年生ゼミ
141130 卒業研究他大学合同中間発表会

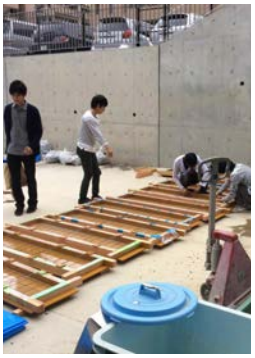
141203 後期　第９回４年生ゼミ
141204 修士ゼミ
141206 味鋺の家コンクリートタイル搬入
141208 後期　第７回３年生ゼミ
141210 後期　第 10 回４年生ゼミ
141213 名古屋建築研究会　金沢
141215 後期　第８回３年生ゼミ
141216 修士論文公聴会・犬山クラス会
141217 後期　第 11 回４年生ゼミ
141218 修士ゼミ
141220 有松塀改修プレゼン
141224 後期　第 12 回４年生ゼミ
141228 研究室忘年会
150105 後期　第９回３年生ゼミ
150108 修士ゼミ
150109 ３年生第４課題　提出
150113 中川運河市役所ヒアリング
有松塀改修打ち合わせ
150216 修士論文公聴会
150221 味鋺の家土壁塗り
150304 ゼミ配属面談・第１０回３年生ゼミ
150309 有松塀改修着工
150314 味鋺の家掃除・油拭き
150316 有松塀　試験塗装
150318「あじまの家」オープニングイベント
岡啓輔講演会
150319 卒業式
150320 追いコン
150326 前期　第０回ゼミ・新歓
150330 有松塀改修竣工

BBQ：↑
昨年のＢＢＱでは、先輩がギターを持ち込んで演奏したりととても盛り上がりました。

POLUS・蕓賞コンペ：↓
ゼミに配属してからはソフトフェアの習得のために４年生の先輩達とチームを組んで二つのコンペに参加しました。４年と３年で連携を取り、それぞれのチームで作品を完成させ、蕓のチームは入賞することができました。

第一回建築研究会：←
昨年の最初の建築研究会では、三重県を訪れ、内藤廣さん設計の「海の博物館」に行きました。建物の中にはいるとアーチ状に組まれた屋根に驚かされ、約20年前に建てられた建物とは思えない洗礼されたデザインでした。
松坂市内では、松坂民族資料館からはじまり、本居宣長旧邸→御城番屋敷→松坂市文化財センタ→松阪商人の館→松坂市役所プラザ鈴。というようにまわってきました。
約140年前の武家屋敷として使われていた御城番屋敷は今でも賃貸物件で使われていました。

花見：←
歓迎会も兼ねて鶴舞公園で花見をしました。
先輩たちが前日の夜から泊まり込みで場所取りをしてくれたおかげで桜の下で宴会を楽しむことができ、腹を割って話す場となり３年生と４年生の親睦が深まりました。



コンクリートパネル制作：←→
今年の３年生は現場での施工ばかりではなく、味鋺の家改修プロジェクトの一環として土間にはめ込むコンクリートパネルを一枚一枚制作しました。
建築学科材料系の平岩先生に協力してもらいながら味鋺の家にふさわしい土間の表現を考え、試行錯誤しながら無事コンクリートタイルを完成させることができました。学生だからこそ作ることができる表現ができたと思います.

ゼミ室レイアウト：→
昨年の本棚制作に続き、今年は棚制作のデザインをしました。
左は発注して加工した材を搬入したときの様子です。

木匠塾：↑→
木匠塾は、木材の産地や林業の現場で実際に木材に触れながら木造建築を学ぶサマースクールです。
柳沢研究室は昨年から岐阜県中津川市加子母の木匠塾に参加しています。他の６つの大学と２週間ほど合宿しながら制作物を作っていきます。(京都大学、京都造形大学、立命館大学、東洋大学、金沢工業大学、)
今年の制作物は、名城大学が初めての参加ということもあり、東洋大学さんと一緒に取り組みました。
倉庫として使われていた小屋を改修し、地域の方々の常会のための集会所兼、ＢＢＱ小屋を地元の工務店の方からの指導のもと、春に設計してきた建物の施工や改修を学生が主体となって行います。
今年の制作物は壮大で、作業は夜通し行いましたが夏休み中に完成させることができませんでした。
しかしながら、夏休み後も加子母に訪れて少しずつ作業を進めながら、
なんとか外装のみ完成させることができました。
終えることができなかった内装は、今年の木匠塾で完成させる予定です。

木興プロジェクトサマースクール：←↓
夏休みは木匠塾とは別に、東北復興支援の「木興プロジェクト」に柳沢研究室も参加し、宮城県三陸町田ノ浦の交流センターの増築工事を行いました。昨年から滋賀県立さんと一緒に木興プロジェクトに参加していまして、柳沢研究室は今年で２年目になります。
今年の活動は、前年度に増設した交流センターから外のトイレまでの道のりを行き来しやすいように壁や屋根を増築しました。その他にも藤棚やベンチを制作したりと大忙しな木興プロジェクトでしたが滋賀県立大学さんとの交流や東北の方々のお話を聞いたりと夏休みならではの有意義な時間を送ることができました。

インド調査：←↓
2014年８月23～９月７日の間、インド調査に修士２年生の小原先輩、修士１年生の山本先輩、そして学部３年生の長屋さんと渡辺さんが柳沢先生に同行してインドへフィールドワークにいきました。時には、息抜きにチャンディガールやガンジス川へ遊びに行ったりと、充実した時間を過ごしました.
ヴァーラーナシで行った調査では街の中を歩き、融合寺院等についてヒアリング調査と実測調査を行い、帰国してから調査結果を学部生も手伝いながら図面等にまとめました。

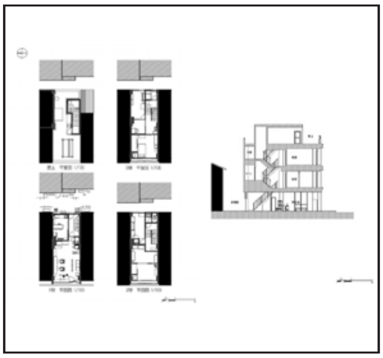
第２回建築研究会：←↑
二回目の建築研究会で向かった場所は、伊東豊雄設計の瞑想の森です。
火葬場として使われており、
屋根の曲線が特徴的で山に囲まれた静かな場所でした。

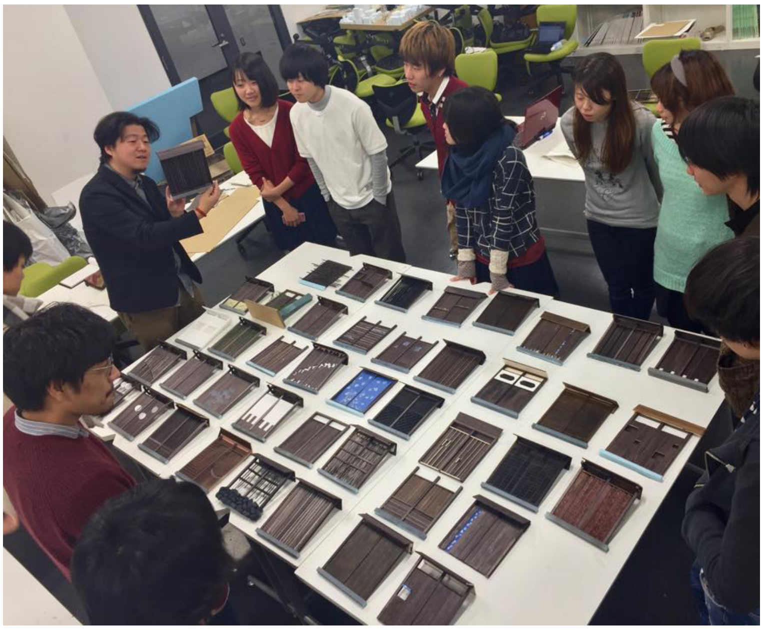
ゼミ旅行：←↓→
今年のゼミ旅行は、昨年の８月に２泊３日で台湾に行ってきました。
台湾は亜熱帯で１年を通して温暖なので植物がよく育ち、建築も植物と調和したものが多くみられました。
←：台湾に到着してさっそく華山 1914 創意文化園区 (Huashan1914・Creative Park) へ行きました。
ここは日本統治時代の酒工場の跡地を上手に有効活用した商業施設で、ライブハウスからミュージアム、カフェ、雑貨屋さんなど沢山のお店が並んでいてとても賑わっていました。
→：千と千尋の神隠しの舞台になったといわれる九份にも行ってきました。
九份の街並みは、これまた日本統治時代の面影を色濃くとどめており、当時の酒家（料理店）などの建物が数多く残っています。

最後は、林安奏古厝（リンアンタイグーツォ）で，タイトルに使われている集合写真を撮りました。
林安奏古厝（リンアンタイグーツォ）が竣工されたのは清の時代の 1783 年で、200 年以上も昔に建てられたとは信じられないほどの美しさを保っていました。
みんなが持っているタオルは生徒がデザインした研究室オリジナルタオルでこのゼミ旅行中に迎えた柳沢先生の誕生日のプレゼントとして九份をあとにしたバスの中、サプライズで渡しました。
今年のゼミ旅行は異国の文化に触れながら建築を見るという貴重な経験になりました。

犬山プロジェクト：↓
犬山には火災から町を守るように防災ビルが建っており、犬山プロジェクトは、この防災ビルを再び活用するべく地域の方々とともに進めているプロジェクトです。
実際に現地に訪れ、防災ビルを実測し、図面におこす作業をしています。
さらに住んでいる方の話しを伺いながら、防災ビルの歴史や現在の使用状況などを調査しています。
名城大学都市情報学部の海道研究室と犬山に住んでいる方々、店舗を経営している方を中心に、犬山をより良くするために議論を行う「犬山くらす会」にも参加しています。
くらす会では、今後の犬山について話し合うのはもちろんのこと、私たちの犬山プロジェクトの現状報告などを行っており、今後は何か具体的な提案ができることを目標としています。

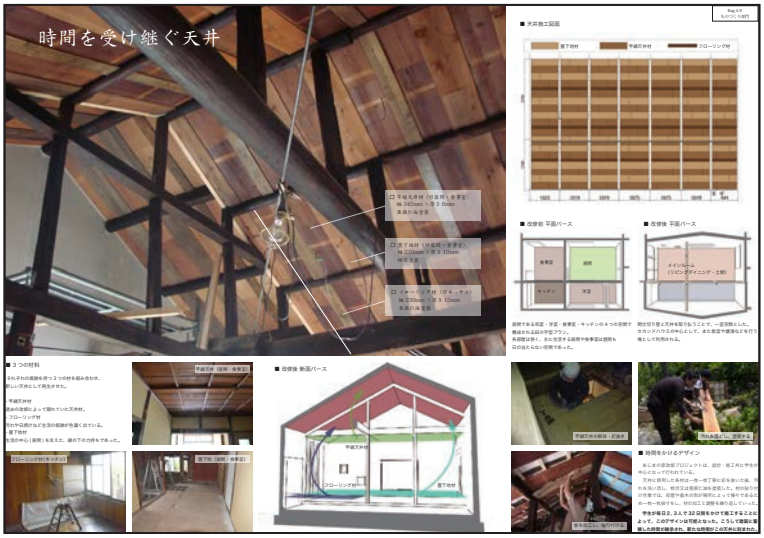
鍋・菓子パーティー：←
二年生の後輩達の勧誘と交流会を兼ねて鍋・菓子パーティーを行いました。
鍋やお菓子をつつきながらゼミの内容や様子、課題について話したりして親交を深めました。
ここで柳沢研究室に興味を持った人が卒業設計を手伝ったり、研究室に配属してくれた人もいてくれました。このような後輩との交流の場はこれからも大事にしていきたいですね。





中川運河プロジェクト：↓
名古屋の都心である笹島から名古屋港を直線的に結ぶ中川運河は、今日の名古屋における産業の発展を下支えてきた歴史ある運河です。
つくられた当時では「東洋一の大運河」呼ばれていましたが、現在は物流が水運から陸運へと変化していくとともに水上輸送は廃れ、倉庫が建ち並んだ風景が失われつつあります。
この中川運河プロジェクトでは、時代の背景とともに失われつつある倉庫を実際に現地に訪れて調査するとともに、倉庫の魅力をよりわかりやすく様々な人に発信するため、一つ一つ倉庫の特徴をまとめた「中川運河、倉庫カタログ」を作成しています。現在は、中川運河を管理している名古屋市と名古屋港管理組合ともに意見交換をしながら、最終的には中川運河全体の新しい使われ方を考え、提案に結びつけれたらいいなと考えています。

有松プロジェクト：←↑
有松は東海道沿いに古い街並みが残る有松絞りで有名な地域です。
このプロジェクトではお施主さんの家の前の塀をデザインしており、お施主さんの希望する「主張し過ぎず、質素過ぎない」といった塀をデザインするため、1/10 の大きさで作成した計 44 個の塀の模型を並べ、数時間をかけてデザインの選別を行い、上のような設計の塀に決まりました。
主張し過ぎず、質素過ぎない。通りすぎる人にほんの少し意識してもらえるといった具合に、お施主さんの意向を踏まえつつ私たちの設計テーマに沿った塀ができたと思います。
現在は３月中の竣工を目指して現在新３年生達と共に施工しています。



あじまの家改修プロジェクト：←↑↓

味鋺の家プロジェクトは名古屋市北区東味鋺の一角に建つ古い木造平屋を、学生が主体となって設計・施工を取り組んでいる改修プロジェクトです。

味鋺の家プロジェクトは一昨年から続くプロジェクトで、設計を現在の４年生が先生とともに進めてきました。

昨年の５月に着工し、シフトを組みながら週に５日、１日４～５人で作業していました。

設計・施工と学生主体で行ってきた味鋺の家プロジェクトですが、木造の伝統工法を得意とする現役の大工さんで、名城大学のＯＢでもあり、2005 年の「愛・地球博」での「サツキとメイの家」を建てた中村武司さんに様々な面でサポートしていただきました。

今年に入ってからはコンクリートパネルを土間におさめ、壁面に荒壁を塗り最後の仕上げに入りました。

あじまの家でやってきたことは『木を活かす学生課題コンペティション」というコンペに、学生が参加するからこそ出来たものとして出しました。このあじまで積めたとても貴重な経験はこれから先もどこかで役に立っていくでしょう。

第３回建築研究会：↓

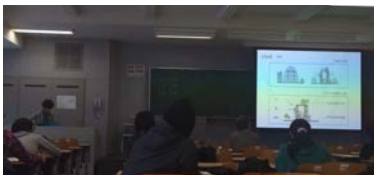
昨年最後の建築研究会では金沢 21 世紀美術館へ行きました。円いガラスに囲まれた明るい美術館で､建築そのものがアートのようでした｡多種多様な現代アート作品に対応しうる様々な展示空間は、他の美術館にはない魅力があります。名物であるプールでは内部から水上を見上げた普段見られない眺めや、プールを見下ろしたときに人が水の中にいるといった驚きがあり、この作品の面白さから人の交流が生まれるような楽しい体験でした。

ワークショップ：←↓

あじまの家でお世話になっている中村さんや建築家の安井さん達と共に安井さんの自邸を建築するワークショップにも参加しました。

伝統的な手法を用いた住宅の新築の手順や構造、建て方等を実際に見て触れることができる貴重な機会でした。

左の写真は手斧（ちょうな）はつりという伝統的な材の加工の体験で、加工したものは安井さんの家に使われました。

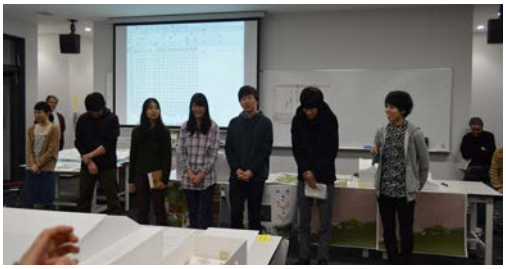


卒業論文審査会：←

柳沢研究室は特にコンセプトが深く考えられていて、しっかりとした案が多い印象を受けました。ただ、コンセプトを大事にしてる分、発表時間の半分以上をそこに費やしてしまい、肝心な設計のところの発表が不十分になってしまっていたり、時間オーバーになってしまった発表があったのも事実です。時間は限られているので、事前に発表の練習をし、時間内で伝えるべきところと伝えなくても良いところを明確にし、初めて聞く人にもわかりやすくまとめる、ということがいかに大事なのかということを改めて理解しました。

卒業制作：←

今年は一人あたりの作業スペースが狭かったため、不便なこともありましたが４回生の手伝いを二年生だけでなく、一年生の人達も多くの人が手伝ってくれました。例年以上に模型、人口の密度が高い卒業制作となりました。



卒業制作講評会：←

今年の卒業制作では徳森先輩、新井先輩の作品が特別賞に入選しました。上位三作品には残念ながら先輩方は選ばれませんでしたが、どの作品も４回生の先輩と手伝った１～３回生の努力が伝わってきました。本当に皆さんお疲れ様でした。

修士論文発表：←

修士２回生の小原先輩が 2/27,28 に行われた全国修士論文 / 設計展『トウキョウ建築コレクション 2015』の論文展にファイナリストの１人になりました。

小原先輩は研究室でソフトウェアの使い方の指導や設計課題のエスキスなど下級生を先導して、いつも的確なアドバイスと参考になるものを教えてくれました.

今までお世話になり、ありがとうございました。